

観察の眼

「奥河内の春の植物観察会」

～春の里山植物と樹木の展葉の様子などを観察～

実施日：2019年4月12日

記録：1班 上山富美代

コース：千早口駅～延命寺～観心寺



シデコブシ（モクレン科）

- ・花が終わった後の展葉
- ・果実つく



ヤブチョロギ（シソ科）
〔數長老喜〕



ヒメオドリコソウ（シソ科）



カラスノエンドウ（マメ科）

- ・葉軸の基部に葉軸密腺がある



クコ（ナス科）

- ・葉は草のような質感



ヒメウス（キンポウゲ科）

- ・葉や根の形状が烏頭（ウス：トリカブト）に似て小型であることによる名



サギゴケ（ハエドクソウ科）

- ・淡紫色の花をムラサキサギゴケと称することもある



キュウリグサ（ムラサキ科）

- ・葉をもむと胡瓜に似た匂いがある



シロバナタンポポ（キク科）

- ・分布…関東地方西部以西



ハハコグサ (キク科)



サネカズラ (マツブサ科)
・別名: ピナンカズラ



アオキ (アオキ科)
・雌雄異株
雄花(上)と雌花(下)



ミチタネツケバナ (アブラナ科)
・果実と果柄の間に曲がない
・果実が花より高くなる
・茎は無毛



トウコマツナギ (マメ科)
・別名: キダチコマツナギ
・2m以上にもなり背高
・豆果つく



スイカズラ (スイカズラ科)
・別名: ニンドウ (忍冬)
・若葉と古葉 (丸く縮こまる)



ウワミズザクラ (バラ科)
・長い総状花序
・花序の柄に葉 (基部が丸い) がつく



雄花



雌花

ハナイカダ (ハナイカダ科)
・雌雄異株
・幼木(右上)



タチツボスミレ (スミレ科)
・花期の葉は長さ 2cm 程の心形



ミツデウラボシ (ウラボシ科)
・小株はミツデにならず単葉
・葉裏の胞子のうは円形



サンショウソウ (イラクサ科)
・雌雄異株
・雌株…花被片は緑色で刺が目立つ



ジャゴケ (ジャゴケ科)
・雌器托が伸びきってキノコのように見える
・成熟した胞子嚢から弾糸が出る



ウバユリ (ユリ科)



チャルメルソウ (ユキノシタ科)
・葉…広卵形で5浅裂する
・花…顎裂片が直立し花弁は5裂



オオチャルメルソウ (ユキノシタ科)
・葉…長卵形で浅く3～5裂する



ムラサキケマン (ケシ科)



ヘラバヒメジョオン (キク科)



ツルカノコソウ (スイカズラ科)

・花のあと、細い走出枝をのびし、先端に新苗をつくる



ミヤコアオイ (ウマノスズクサ科)

・花…萼筒は半球形で口部はくびれる



カンスゲ (カヤツリグサ科)



オオアラセイトウ (アブラナ科)

・別名：ショカツサイ
ムラサキハナナ



マルバウツギ (アジサイ科)

・葉…対生 葉脈がくぼむ



ヤマネコノメソウ (ユキノシタ科)

・果実…楕円形の小さな種子が何十個もつく(例：約80個)



コナラ (ブナ科)

・雄花垂れる



コメツブツメクサ (マメ科)

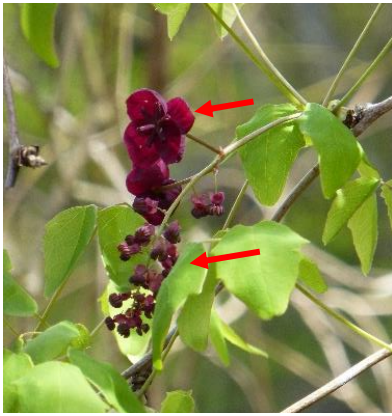
・花…5～20個が球状に集まる



コハコベ (ナデシコ科)

・雄しべが7個以下(写真5個)
ミドリハコベは8個以上





ミツバアケビ (アケビ科)
・雌雄同株 雌花(上) 雄花(下)



オオバヤシャブシ (カバノキ科)
・雄花垂れ、大きい果穂残る
・枝先から葉芽、雌花穂、雄花穂とつく



ミツバ (セリ科)



ガマズミ (レンブクソウ科)
・葉…丸い ・花序つく



コバノガマズミ (レンブクソウ科)
・葉…ガマズミに比べひとまわり小さい



ウグイスカグラ (スイカズラ科)



サツマイナモリ (アカネ科)
・花…花冠は漏斗状で、先は5裂
短花柱花(上)・長花柱花(下)



ワサビ (アブラナ科)
・葉…波状の鋸歯があり、表面に光沢がある



ウマノアシガタ (キンポウゲ科)
・花…花弁は光沢がある
・有毒植物の一つ



ヤブニンジン (セリ科)



カテンソウ（イラクサ科）



バイモ（ユリ科）
・別名：アミガサユリ



ヒメリュウキンカ
（キンポウゲ科）



延命寺：夕照もみじ
（イロハモミジ）



・大阪府指定天然記念物（樹高9m、幹周5m）
・樹齢800～1000年と伝えられている



シナレンギョウ
（モクセイ科）
・葉…細長い



レンギョウ（モクセイ科）
・葉…広い卵形



キンモクセイ（モクセイ科）
・葉…わずかに鋸歯ある



ギンモクセイ（モクセイ科）
・葉…キンモクセイより鋸歯多い



コクラン（ラン科）
・花茎が残る



ネコヤナギ（ヤナギ科）



シャガ（アヤメ科）



トクサ（トクサ科）
・表面がざらつく



クサノオウ (ケシ科)

- ・茎や葉を切ると乳液が出る
鎮痛作用もある
- ・多数の雄しべの間に体をくねらせた雌しべがつく



ケケンボナシ (クロウメモドキ科)

- ・果実が残る
- ・葉痕はV字型、萌芽



ヤブヘビイチゴ (バラ科)

- ・副萼片が萼片より大きい



ムロウテンナンショウ (サトイモ科)

- ・付属体は次第に細くなり先端はふくらみ緑色



アケビ (アケビ科)

- ・同一花序に雌花と雄花がつく



ダンコウバイ (クスノキ科)



ニワトコ (レンブクソウ科)

- ・花序がつく



ヤワゲフウロ (フウロソウ科)

- ・全体に軟毛がある



タンキリマメ (マメ科)

- ・ダンコウバイに絡んだ豆果



アオモシ (クスノキ科)



キラソウ（シソ科）
・別名：ジゴクノカマノフタ



ヘビイチゴ（バラ科）



ハルジオン（キク科）

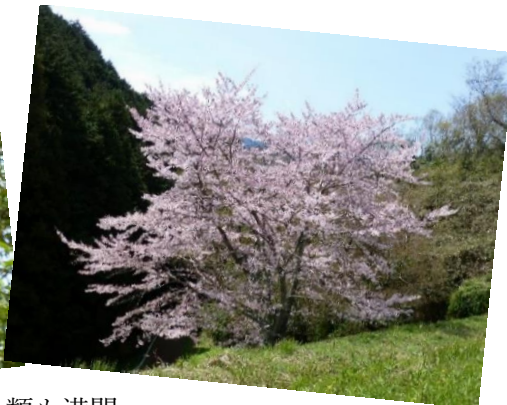


キハダ（ミカン科）
・対生、仮頂芽
葉痕の真ん中に冬芽をつける



エノキ（アサ科）
・花…雌雄同株

オニグルミ（クルミ科）
・展葉始まる



サクラ類も満開